

やさしい街づくり / 元気な長崎 /

長崎市議会議員



だより 86号

令和5年11月 発行責任者：五輪 清隆 編集責任者：福田 剛 長崎市水の浦1の1 TEL861-6032



9月7日 多くの皆さんが傍聴する中、一般質問を行いました

身体に十分に注意して下さい
今年も残り2か月となりましたが、寒さが身に染みる季節になりますので健康管理に充分注意して頂きたいと思っております。
私も市会議員として、市民の皆さんが「安全で安心して生活できる環境づくり」に向けて諸活動を積極的に行っていく決意です。
皆様方には更なるご指導・ご支援をよろしくお願い致します。

長崎市議会議員 五輪 清隆

身体に十分に注意して下さい

長崎市は火葬需要が令和17年から20年にピークを迎える年間見込み件数が増加となっていることから、令和17年度までに供用開始するとされています。その為、早急に建設場所の選定する事を要望しました。
又、新たな文化施設の建設では現在、建設資材の高騰や労務単価の引き上げにより当初予定していた建設費用では建設出来ない状況に直面しています。厳しい長崎市の財政力を考えた時、上限額を設ける等しなければならぬと考えていますので今後も議会で議論して行きます。

一般質問を行いました

9月7日に5項目について4月の議員改選後、初めての一般質問を行いました。(主な質疑内容は2・3ページに記載しています)

私は今年4月の長崎市議会議員選挙で「長崎市火葬場の早期建て替え」を公的に掲げています。
現在の施設は建設されて45年が経過し老朽化が進み、必要な機能として遺族が単独で使用できる告別室・収骨室・駐車場等の改善を多くの市民の皆さんから要望を受け、ここ数年今日まで一般質問で取り上げて質疑を行い、長崎市もようやく昨年9月、建設に向けた基本構想を表明し、今年4月、庁内に建設場所の選定への組織体制が設置されました。

晩秋の候、皆さまに於かれましては益々ご健勝にて、ご活躍のこととお慶び申し上げます。

一般会計予算(総額16億532万円)・54議案を可決・同意!

令和5年9月議会



長崎市議会・令和5年9月定例会は、9月1日(金)から9月20日(水)までの会期日程で開催されました。
一般会計予算案では、8月に発生した橘湾の広範囲での赤潮発生により、湾内で養殖していたマダイ・トラフグ・シマアジなど壊滅的な被害が発生したことにより、養殖業者へ支援する補正予算が可決されました。
稲佐山公園駐車場と山頂を結ぶ「長崎稲佐山公園スロープカー」の運営費のうち令和4年度分の1,550万円は認めず、総額16億532万円に減額修正して可決しました。

主な補正予算の内容

自動車購入費(市長公用車)
経年劣化している市長公用車を更新するもの。
：580万円

長崎ペンギン水族館施設整備事業：1,220万円
利用者の利便性向上のため、キャッシュレス対応の駐車場料金事前精算機を整備するもの。



長崎ペンギン水族館

農業振興施設整備事業費補助金

長崎びわ寒害対策施設
露地びわの寒害に強い産地づくりを進めるため、簡易ハウスの整備や簡易ハウスへの小型温風機の導入を支援するもの。
：937万4千円

土地区画整理事業費(長崎駅周辺地区)

高架広場撤去工事において、高架広場の桁・階段・支柱部分の鋼材の塗膜材に含まれていたPCBの除去作業に係る経費を増額するもの。
：1億8,290万円

小学校整備事業費(西町小学校等改築)

材料費の価格高騰等に
：1億8,290万円

公園維持管理費

稲佐山公園の長崎稲佐山スロープカー運営業務において、人員配置の見直しに係る経費を増額するもの。
：1,555万4千円



稲佐山スロープカー

水産業振興費負担金・補助金 養殖赤潮被害緊急対策事業費補助金

令和5年8月に橘湾で発生した赤潮による深刻な被害を受けた事業者に対し、県と連携してへい死した養殖魚の代替魚導入経費等を支援するもの。
：5億6,008万円

いつわ清隆の主な役職

- 【議会】
総務委員会委員
議会運営委員会委員
核兵器廃絶長崎市議会議員連盟会長

【地域】

- 女の都自治会会長
西浦上東部地区自治連合会副会長
女の都地区青少年育成協議会顧問
長崎市消防団第三分団後援会副会長
長崎市社会福祉協議会西浦上東部支部副支部長

【その他】

- 長崎市ボウリング協会会長
瓊浦高等学校評議員
国民民主党長崎県連副代表

ご相談はお気軽に!



長崎市女の都1丁目1-44-13
自 宅 電話 (844) 95999
生活相談室 電話 (828) 74222

k.itsuwa



# 9月7日 一般質問を行う!

1. 新たな文化施設の建設について
2. 長崎市火葬場の建て替え計画について
3. 都市計画道路大黒町・恵美須町線拡幅整備の進捗について
4. 老朽危険空き家の対応について
5. 橋湾の赤潮被害について

## 主な質疑内容

### 1. 新たな文化施設の建設について

令和2年1月に「新たな文化施設」を現市庁舎跡地に建設することを決定されていましたが、市長は今年6月12日の定例会見で「新たな文化施設を市庁舎跡地に造る計画について、県庁舎跡地活用の議論や建設費高騰などの状況を見極め、建設地が適切か」「再度整理する必要がある」との考えとまち全体のグランドデザインを描く中で「文化施設が最適なのか考えたい」と説明されています。

又、マスコミのインタビュウでは、新たな文化施設を「何らかの形で造る必要はある」との考えを示したが、建設場所やスケジュールは「いろいろな議論がある」と明言を避けたと報道されていますので以下3点について伺います。

**質問** 市長のグランドデザインはどのようなものを描いているのか、建設場所をいつまでに結論を出すのか伺います。

**答弁** 「グランドデザイン」は、長崎市全体を対象に将来の都市構造である「ネットワーク型コンパクトシティ長崎」の実現に向けて、人の回遊の維持・

解体が行われている「旧市庁舎」



強化を軸とする、経済の再生と定住人口の増加に向けたまちづくりの具体的な方向性を示すものです。

新たな文化施設の建設場所は、改めて都心部において候補地となる場所を洗い出し、ホール施設の立地場所として最適であるかという視点および都市部の回遊性向上に寄与するのかがという視点から、外部識者の意見も聴取しつつ検討を進めていくことになると考えておりスピード感をもって優先的に整理していきたいと考えております。

**再質問** 優先的に整理すると

の答弁があったが、いつまでに建設場所を決定するのか。

**再答弁** 本年度中(令和6年3月末)までには建設場所を示すこととなります。

**質問** 建物の建設費用は66億円から69億円程度とされ、最近では資材費の高騰や人手不足により現在の概算額で基本計画通りの施設は出来るのか。

**答弁** 建築資材の高騰や労務単価の引き上げ等の影響により、建設単価の上昇傾向が続いている状況であり、基本計画策定時点からの建設費の増加も一定あり得るものと考えていますので、今後とも社会情勢の変化に伴う建設単価の動きなども注視しながら、整備に向けた精査を行っていきたく考えています。

**総事業費**は基本設計・実施設計および埋蔵文化財調査に係る見積もりの徴取や積算外構工事に係る類似施設の建設単価の調査や積算を進めてきましたが、外構は建物の配置計画に大きく影響を受けること、高低差のある土地の中で、バリアフリー動線を確保しつつ、建物廻りの広場機能も一

定確保するための検討を設計段階で行うこととなりますので、現段階で総事業費を示すことができません。

**質問** 国からの補助制度で活用できる補助額。

**答弁** 現在の基本計画を前提として、補助額の上限はあるが補助率は補助対象事業費の2分の1と、まちづくり関連の補助制度の中で有利なメニューである国土交通省の都市構造再編集中支援事業を活用することとしており、建物部分を66億円から69億円程度と見込んだ計画においては、国の補助を30億円弱と見込み調整しています。

この全体の補助額は今後、設計が進み施設の内容が具体的にいった後に国と再度調整することになっていきます。

### 2. 長崎市火葬場の建て替え計画について

**質問** 昨年9月に「長崎市新火葬場整備基本構想」が示されましたが、今後、基本計画を策定するには建て替え場所の選定をしなければなりませんので、場所の選定をするには市役所内の各部署から専門知識を要する職員を配置して独自の専門グループを編成する

などの組織体制が必要であると昨年11月の本会議で要望し、答弁で今後、適正な組織体制の確保に努めるとありましたが組織体制・検討会議・建設場所の選定状況。

**答弁** 今年4月から、新たに市民生活部に部内の施設調整等を担当する土木技術職の理事と自治振興課に担当係長を配置し、建設候補地の選定をはじめ基本計画の策定などの業務がスムーズに行えるような体制を一定確保できたものと考えています。

令和2年度から庁内の関係課長等で構成する「もみじ谷斎場建替えに向けての検討会



現在の長崎市火葬場

### 3. 都市計画道路大黒町・恵美須町線拡幅整備の進捗について

議を組織しており、今月2月に個別に意見を聴取し8月にも第5回会議を開催し、建設候補地の選定に関して協議を行いました。

建設候補地の選定は、現在の場所と同程度以上の面積を有する市有地に関して数十か所程度抽出したうえで、庁内の検討会議に加え関係部局長も含めて協議を行いながら、さらに一定数までに絞り込みに向けて行い早期に整理が出来るように鋭意取り組んでいきます。

**質問** 平成25年12月に長崎駅周辺の交通混雑の解消策として、旭大橋交差点からまるみつパチンコ店前から長崎中央郵便局の交差点までの区間を拡幅しようとする事業であります。いまだに完成出来ていませんが進捗状況について伺います。

**答弁** 建物規模の大きい地権者のうち国道側の地権者には用地買収に係る協力をいただき、本年2月末に建物の解体が完了しています。



拡幅整備が行われる大黒町・恵美須町線

を交わし、建物が解体されるなど着実に用地の確保がすすんでいます。建物規模が大きい残りの1件につきましても移転先等の調整に一定の理解を頂いており、移転先やスケジュールを含め、継続的に調整しており令和11年度完成を目標に事業に向けて取り組んでいきます。

### 4. 老朽危険空き家の対応について

**質問** 老朽危険空き家の周辺の住民の皆さんは大雨や台風時には危険との隣り合わせであるが、長崎市内に老朽危険空き家の件数と市としての対応。

**答弁** 老朽危険空き家は、令和5年3月末現在、406件を把握し所有者等への指導を継続的に行ったことで自主解体や補助金の活用による除去が進み、231件が解決に至り、現在は175件を継続的に所有者等への文書の送付や職員による所有者宅への訪問により、適正管理に関する働きかけを重ねて行うなど粘り強く指導を行っています。



老朽危険空き家

**質問** 橋湾の赤潮被害について7月31日に橋湾の広範囲での赤潮発生により、湾内で養殖していたマダイ・トラフグやシマアジなど壊滅的

な被害が発生しましたが、現在把握している被害状況・被害額および養殖事業者への支援策。

**答弁** 今回の赤潮によりマダイ・トラフグ・シマアジなど約73万尾がへい死し、被害額は約9億円と見込まれています。

養殖業者がマイナスからの再スタートとなるなか、生産再開、産地の再生に向け県市協調した強力な支援が必要ですので、養殖業者が早期に事業を再開するために必要な代替魚の導入や金融面での支援などについて本会議において審査いただきたいと思います。



赤潮による被害が発生した橋湾養殖場